

工大広報

No.294
Summer 2019
2019年8月5日発行
(年4回発行)

2019年8月5日発行(年4回発行)



2020年4月 新学部・新学科 誕生

各学科の新しい動き
「学長と話そう」学長×新入生

第2回オープンキャンパス 工学部 環境エネルギー学科※の学生スタッフ
(※工学部 環境エネルギー学科は、2020年4月より「環境応用化学科」として新設)

バックナンバーについては、本学Webサイトよりご覧いただけます。
www.toitech.ac.jp/kodaikoho/index.html



創造から統合へー仙台からの発進
東北工業大学

学長と話そう

普段あまり話をする機会がない学長と学生たちが、学長室で近況報告や意見交換を行う座談会を開催。第二回は、この春に入学した新入生を代表して4名に集まってもらいました。



(向かって左から)

ライフデザイン学部 経営コミュニケーション学科1年

みと そうた
水戸 創太さん

ライフデザイン学部 クリエイティブデザイン学科1年

えんどう しもん
遠藤 史門さん

工学部 建築学科1年

ちようなん たまき
長南 球紀さん

工学部 電気電子工学科1年

こばやし はるか
小林 遥さん

こんの ひろし
今野 弘 学長

東北工業大学に入学して早3カ月、新入生の皆さんは、どのような学生生活を送っているのでしょうか。そこで今回は、この春に入学した4名の新入生と、今野 弘 学長が「大学生活での目標」をテーマに意見交換をしました。まずは、それぞれの志望動機を含めた自己紹介から始めましょう。

入学した動機

小林さん もともと、ロボットやスマートフォンの仕組みなどに興味があり、何か自分でそうした機械を作ってみたかったのが、今の学科を選んだきっかけです。

長南さん 大学に進学するとき、将来を考えなければいけないと思いつつ、やりたいことや就きたい職業が見つからなかったんです。でも、高校2年のときに父から、祖父が建設業をしていたという話を聞き、何かピンときたというか。まだ建設の中でも、構造や設計、デザインなど具体的な分野は決まっていますが、ここで学びながら見つけれればと思っています。

水戸さん 僕には、教師になりたいという夢があります。この夢を実現するために、商業の教員免許が取れる経営コミュニケーション学科で通常科目に加え、さらに教職科目も受講し、日々勉学に励んでいます。



クリエイティブデザイン学科
遠藤 史門さん

遠藤さん 僕は、やりたいことが多すぎて絞りきれないです。映像を作ってみたいし、ロゴのデザインもしてみたいし、とにかくいろんなことにチャレンジしたくて、この学科を選びました。

学長 みなさんの動機はさまざまですね。卒業後の目標についても、明確にあったり、まだ決めていなかったりそれぞれですが、私から一つ言

えることは、この大学でより多くのことを得てほしいということです。もちろん、自分に合わないと思うことに出くわすこともあります。その時は別の何かを探せばいい。とにかく、卒業するときに後悔だけはしないように、好きになれるものを見つけてほしいですね。

入学して感じた変化

学長 入学して3カ月経ちましたが、学生生活はいかがですか？

小林さん 高校のときと大きく違うのが、大学には空きコマがあることですよね。1限を終えたあとに2、3限が空いて、4限にまた講義を受けるというのが、まだ慣れないです。

学長 確かにリズムを作りにくいですね。

小林さん はい。でも授業の方は、プログラミングなど専門的な分野でも基本的なところから教えていただけるのでついていけますし、先生に質問しやすい環境もありがたいです。

長南さん 私が高校との違いを感じたのは、先生が講義だけでなく、それと並行して自分の研究も行っているところですね。建築学科で尊敬する先生がいるのですが、その先生が書いた本を図書館で見つかったり、先生が新聞に専門家



電気電子工学科
小林 遥さん



建築学科
長南 球紀さん

としてコメントを出しているのを見つけたりとすると、その人のもとで学んでいることが誇らしく思えます。ただ、図書館で見つけた先生の本は、内容が難しくほとんど分かりませんでした（笑）

学長 確かに、高校の先生は授業だけけど、大学は自身の研究を持っていますからね。水戸くんは、この大学に入学して、どのように感じて

いますか？

水戸さん 環境は良いと思います。商業科の教員免許というのは、将来の目標とは少し違いますが、今できることをしっかりやりたいと思っています。後でやってあげればよかったと後悔したくないですし、やるだけやってダメだったら切り替えもできると思って。

学長 そうですね。今の勉強は必ず自分の力になるはずで、そこから道が拓けることもあると思います。では、遠藤くんは？

遠藤さん 毎日が充実していて、1週間がとてもはやく感じますね。気づいたらもう7月です。このままだとすぐ卒業が来て、少しでも気を抜いたら何も身につかないまま終わっちゃうんじゃないかって焦るくらい（笑）

学長 それは充実した日々を過ごさせていますね。実際に、大学にいる時間って意外と短いんですよ。1週間といっても通学は週5日、しかも夏と春には長期休業もある。それらの休みを合わせると、大学は年間200日くらいは休みなんです。先ほど空きコマの話もありましたが、大学生活は、いかに空いた時間を有効に使うかが重要なんです。それによって個々の成長度合いも変わってきますよ。

この4年間でやりたいこと

学長 入学前と後で印象が違ったことなどはありますか？

遠藤さん 入学して驚いたのは、施設がすごく多いことです。木工専用の実習室などもあり、さまざまな設備が充実していて、これから早く使ってみたくてワクワクしています。

小林さん 私は、専門科目が少ない気がして少し物足りないです……。

学長 それは1年生だからですね。これから徐々に専門科目が多くなって、やりたい授業も増えてくると思いますよ。

小林さん そうなんです。じゃあ、楽しみにしています！

学長 皆さん、この大学で4年間のうちにやってみたいことはありますか？たとえば、留学して国際交流をがんばりたい、などでもいいですし。

小林さん 私はボランティア部に入っているのですが、その活動をがんばりたいですね。以前、イベントに参加したときは、子どもたちと触れ合えて楽しかったので、さまざまなイベントに参加して、学外でも多くの人と接してみたいです。

学長 水戸くんもボランティア部ですね。

水戸さん はい。僕もボランティア部の活動を通して地域のことや世代を超えた交流ができそうで楽しみです。

学長 いろいろな交流ができそうですね。長南さんは？

長南さん 私も世代を超えた交流を広げたいと思っています

す。建築学科の先生が行うリノベーションプロジェクトでは、先生の仕事仲間の方と話したり、年上の方と交流したりする機会が増えました。今までは家族や高校の先生以外に年上の方との接点がなかったので、視野が広がる感じがしておもしろいです。

学長 とても良いことですね。学科の教員はもちろん、サークルで知り合う人など、さまざまな考えをもつ方たちと接する機会は高校生の頃よりたくさんあると思います。自分の知見も広がるでしょう。

水戸さん 僕は資格をできるだけ取りたいと思っています。以前、中国語の先生に中国語検定を受けてみたらと勧められたので、まず挑戦してみようかと思っています。

学長 この4月から、資格取得に奨励金が出る制度が始まったのを知っていますか？

水戸さん そうなんですか？

学長 資格の難易度によって内容が違いますが、学科ごとに用意しているので興味があったら、ぜひ調べてみてください。

水戸さん はい。あと資格のほかには国際交流にも挑戦したいと思っています。中学、高校のときにアメリカに行ったことがあり貴重な経験ができたので、大学でも新たな経験がしたいなと。

遠藤さん 僕も4年間のうちに英語が話せるようになりたいですね。そのほかに、ポスターを作る勉強もしたいです。

学長 ポスターを作る勉強ですか？

遠藤さん はい。僕はスノーボードをやっているのですが、年々雪が少なくなっているのを実感しています。地球温暖化の問題を身近に感じているので、その問題の深刻さを多くの人に伝えられるように、ポスターや動画を作りたいと考えていて。

学長 素晴らしい志ですね。ぜひ応援したいな。

遠藤さん いや、志というか、ただこれからもずっと天然の雪で思いっきりスノーボードをし続けたいというだけですが……（笑）

学長 皆さん、やりたいことがたくさんあって、本当に素晴らしいと思います。先ほども言いましたが、大学生活は長いようであつという間に終わってしまいます。ただ、自分が何をやりたいかを見つけてことができれば、事前にいろいろと計画を立てることもでき、時間を有効に使うこともできるでしょう。私は、本当にやりたいことが見つかったのは大学4年のときだったんです。高校のときから土木関係の道に進みたいと思っていたものの、いろいろな経験をするうちに自分に合っている職種に気づきました。だから、皆さんも多くのことを経験し、自分が本当に何をしたいのかを探してください。そのために、ボランティア活動をしたり、年上の人と接したり、国際交流をがんばったり、技術を磨いたり、大学の講義に限らず学外でも交流を持ち、そこから得た経験を自分の将来に役立ててもらえればと思います。



経営コミュニケーション学科
水戸 創太さん

各学科の新しい動き

2学部8学科および共通教育・教職課程センターは、さまざまな取り組みをはじめています。各学科の近況と、学生・教職員の活動を紹介します。

工学部	新入生学外オリエンテーション
電気電子工学科	たがわ <small>いくや</small> 田河 育也 教授

新入生145人を迎え、4月8、9日に秋保温泉において学外オリエンテーションを行いました。初日には学科紹介の後、新入生は少人数のグループに分かれて、30年後の未来技術に関するポスターを作成するグループワークに取り組みました。2日目午前には、初日に作成したポスターを使用した口頭発表会と教員7名による研究紹介を行い、午後には三居沢水力発電所、宮城県警察本部、仙台市科学館を見学しました。新入生にとって、大学生活の不安を解消し、仲間との親睦を深める有意義な機会となりました。



グループワークに取り組む新入生

工学部	課外活動：拡張現実感アプリケーション開発
情報通信工学科	みうら <small>なおき</small> 三浦 直樹 准教授

平成30年度より情報通信工学科三浦研究室では、1・2年生向けの課外活動として拡張現実感 (AR) を利用したiOS用アプリケーションの開発を行なっています。参加学生はいくつかのグループに分かれ、オープンキャンパスにおいて本学科を紹介するためのアプリケーションの開発を行います。最初はSwift言語の学習から始まり、現在は設計・プログラミングに取り組んでいます。講義とは異なる言語・開発環境に戸惑いながらも皆意欲を持って取り組んでおり、当日に学生がどんなアプリケーションを公開できるか期待したいと思います。



毎週金曜日午後集まり活動しています

工学部	目標をもって意欲的に学ぶ一年生に期待
建築学科	いしい <small>さとし</small> 石井 敏 学科長・教授

新入生156名は入学直後に建築ワークショップ (WS) を実施し、全員が成果を発表しました。優秀な成果には学科から賞も授与しました。入学3週間後に行った調査では、「入学してよかった」、「建築学科での学びが想像通り・想像以上に楽しい」という前向きな回答が75%と昨年以上の数字となっています。目標をもって意欲的に学ぶ姿を窺い知ることができます。とは言え学びの中では悩み、つまづく時もあるでしょう。学科には学修・生活上の不安や悩みに個別に相談・対応する体制が整っています。安心して、伸び伸びと建築学を学ぶことを願っています。



1年生建築ワークショップ後の記念撮影

工学部	新任教員の着任と新入生による都市研究
都市マネジメント学科	たかはし <small>としひこ</small> 高橋 敏彦 学科長・教授

今年度2名の新任教員が着任いたしました。お一人目は、東北大学大学院より着任された北條 ほうじょう 俊昌 としまさ 准教授です。ご専門は、環境保全工学で環境関係の科目をご担当されます。お二人目は、管原 すがわら 景一 けいいち 助教で高校教員より着任されました。管原先生は本学科のOBでご専門は河川工学です。水理学全般の科目もご担当されます。2019年度は108名の新入生が入学いたしました。新入生による都市研究のための現地調査を6月1日(土)10グループに分かれて実施しました。その成果は、各人1,000字以上にまとめレポートを提出することになっております。



都市研究のための現地調査 (1)

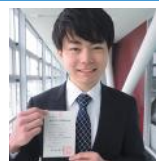


都市研究のための現地調査 (2)

工学部	環境エネルギー学科学生の資格取得例	
環境エネルギー学科	やまだ <small>かずひろ</small> 山田 一裕 学科長・教授	

本学では指定の資格の取得により単位を認定する制度がありますが、加えて今年度から「資格奨励金制度」が開始されました。本学科の最近の資格取得例を挙げると次の通りです。

学年	氏名	取得資格
4年	<small>すずき なおひと</small> 鈴木直仁さん	技術士補(環境部門) 一言:「資格は、知識があるという証明にもなるし、就活において評価してもらえます。どんな資格の問題でも勉強すれば、解けるようになります。チャレンジしてみてください。」
4年	<small>まつかわひろあき</small> 松川寛明さん	公害防止管理者(水質第3種)
4年	<small>わたなべたくや</small> 渡辺拓也さん	宅地建物取引士、マンション管理士、管理業務主任者



ライフデザイン学部	幅広いデザインの学び
クリエイティブデザイン学科	ながさき 長崎 ともひろ 智宏 准教授

本学科の新カリキュラム『デザイン計画および同実習B』（3年次前期）をご紹介します。この授業では、グラフィックやウェブ、プロダクトなど幅広い分野から自分の表現したいことに合う分野を選択し、専門的なデザイン手法を学びます。今年度は「デジタルファブ리케이션」と「映像」の実習が始まり、たくさんのアイデアを試しながら制作課題に取り組みました。「映像」の実習では、完成した映像作品を実際の映画のスクリーンで見るという体験もしました。実社会での利用方法を意識できるよう、学びをサポートしていきます。



せんだいメディアテークスタジオシアターでの課題講評会

ライフデザイン学部	学生の社会活動への参画を推進
安全安心生活デザイン学科	いとう 伊藤 みゆき 美由紀 准教授

今年度は101名の新入生を迎え、キャンパス内は日々賑やかさを増しています。最初は緊張した面持ちだった新入生も、様々な知識を学ぶ座学、五感を使って取り組む演習、新しい仲間と出会う課外活動等により、少しずつ大学生生活に慣れ、明るい雰囲気に変化しています。本学科では、社会に出るときに必要な人間力を高められるよう、各学年に社会活動に参画するメニューを組んでいます。2年生のセミナーでは数十種類の社会実習メニューが案内され、どれに参画するか、いくつ参画するかを悩んでいました。充実した大学生活を過ごせるよう、教職員共々精一杯サポートしていきます。



向山こども園のイベントに参画



秋保野尻地域にて自然体験イベントに参画

ライフデザイン学部	マーケティングプロジェクト2019をスタート
経営コミュニケーション学科	さとう 佐藤 あすか 飛鳥 マーケティングサポート研究所所長・准教授

仙台市にある厚紙・印刷・紙器加工業の(有)スマッシュさんとのコラボが始まりました！学生のアイデアを取り入れながら新たな「紙製品」市場を開拓します。第1回はストーリーマーケティングの手法を用いてブレインストーミングを行いました。テーマは、①引きこもり気味の男子ゲーマー大学生、②3歳の子供のいる専業主婦、③定年間のサラリーマン。彼らが過ごす24時間の生活を細かく想定し、紙にまつわる不便を感じることを、紙から出来ていなくても紙に置き換えられるものを洗い出し、製品化アイデアをディスカッションしました。



3チームに分かれてアイズブレイク代わりにブレインストーミングを行いました。

共通教育センター	新カリキュラムに向けた実験教育改善
	ただ 多田 みか 美香 准教授

共通教育の実験科目では、各学科のTA^(※1)やSA^(※2)と連携し、アクティブラーニングを志向した教育改善に取り組んでいます。向学心の維持につながるよう、化学変化や物理現象を観察しながらじっくり考え、学習支援センターや技術支援センターの先生方と共に自主的に質問しやすい環境作りに努めています。レポート指導は個別に行い、理解できるまで何度も繰り返します。消極的な学生にはTAやSAから声をかけてもらい、疑問点を解決していきます。専門性はもちろん、実験には欠かせない集中力や洞察力、グループ実験での協調性の涵養を目指しています。

※1 ティーチング・アシスタント（教務補助員）：指導教員の下、学部の実験・実習等の教育補助を行う大学院生
 ※2 ステューデント・アシスタント（教務補助員）：指導教員の下、実験等の教育補助を行う学部学生



気体と液体との化学反応を利用した金属イオンの定性分析

教職課程センター	学生サポートスタッフ事業の支援
	なかじま 中島 なつこ 夏子 准教授

教職課程センターは仙台市内の小・中学校に大学生をサポートスタッフとして派遣する事業を支援しています。平成30年度には、教職課程を履修する5名の学生が活動を行い、その感謝状が仙台市教育委員会から贈呈されました。活動に参加をした情報通信工学科 ^{かんの まさこ}菅野 雅人さんは、小学校の算数や図工、体育等の授業補助を行う経験から多くの刺激を受け、教員志望の気持ちを固めたそうです。この活動は、東北工大の学生であれば参加できますので、興味のある人は是非参加してみてください。



感謝状贈呈式（前段が参加した学生たち）


就職サポート体制と先輩からのアドバイス

就職内定を得るために頑張る学生の皆さんをバックアップする取り組みや、就職支援スケジュールを紹介します。また、就職活動中の学生や企業の現場で活躍する卒業生から、メッセージやアドバイスをいただきました。

今後の就職支援スケジュール

就職委員会より

就職活動中のみなさんへ
“自己分析と企業研究を十分行うことが肝心です！”



ちば のりゆき
 千葉 則行

就職委員長
 都市マネジメント学科 教授

就活がスタートして5カ月、そして選考開始から2カ月が経ち、希望する企業から内々定を頂いた同級生も随分とまわり目立ち始めてきました。しかし、なかなか思うように就活が進まない学生・院生もいるようです。まずは焦らずに自己分析（適性業種・職種の選択）や企業研究をもう一度行ってみる事です。さらに志望動機、各種書類の書き方、面接対応等に関してもわりから適切なアドバイスを受けることによって、その後の就活がスムーズになりやすくなります。キャリアサポート課をはじめ、学科の就職委員・研修指導教員、就職なんでも相談室、就職アドバイザー等に積極的に相談して下さい。本学は全学を挙げてみなさんを応援しています。

開催月	内容	対象
8月	インターンシップ実施	1年・2年・3年・M1
	民間就職試験対策講座（夏期） （8日（木）・9日（金））	2年・3年・M1
9月	インターンシップ実施	1年・2年・3年・M1
	就職ガイダンス （後期オリエンテーション時 17日（火））	3年・M1
	公務員教養試験対策講座 （9月7日（土）～11月11日（土））	1年・2年・3年・M1
	自己分析・エントリーシート対策講座 28日（土）	3年・M1
	就活支援講座	4年・M2
10月	インターンシップ報告会	1年・2年・3年・M1
	公務員教養試験対策講座	
	自己分析・エントリーシート対策講座 26日（土）	3年・M1
11月	就活支援講座	
	公務員教養試験対策講座	1年・2年・3年・M1
	就活支援講座	
	ヘア・メイク講座	3年・M1
12月	模擬面接	
	公務員教養試験対策講座	1年・2年・3年・M1
	就活支援講座	3年・M1
1月	模擬面接	
	公務員教養試験対策講座	1年・2年・3年・M1
	就活支援講座	3年・M1
2月	進路登録票提出	
	模擬面接	
	就職対策合宿研修「キャリトレ」 （4日（火）～5日（水））	1年・2年・3年
3月	民間就職試験対策講座（春期） （6日（木）・7日（金）・8日（土））	2年・3年・M1
	模擬面接・グループディスカッション実践講座	3年・M1
3月	合同企業説明会・進路指導集会 （3日（火）・4日（水））	3年・M1

就職活動なんでも相談

就活：就職活動 キャリトレ：キャリアトレーニング
 M1：大学院 博士（前期）課程1年 M2：大学院 博士（前期）課程2年

相談窓口紹介

キャリアサポート課および長町キャンパス事務室では、学生一人ひとりの適性に合った進路に導くため、充実の体制で就職活動をサポートしています。インターンシップも含む就職活動での疑問や悩み・不安を抱いたらお気軽にご相談ください。

また、昨今の就職環境の変化に対応するため、学外からも専門のアドバイザーを招き「なんでも相談」を開設して学生の就職活動に関するあらゆる相談に応じています。利用するには事前予約が必要となりますので、キャリアサポート課または長町キャンパス事務室にお越しください。



八木山キャンパス



長町キャンパス

就職活動奮戦記



1番大切なのは自分を知ること

さとう しゅん
佐藤 駿 | 建築学科 4年

就職活動では、業界や企業を知ること、筆記試験や面接の対策など大切なことは沢山ありますが、私が1番大切だと思うことは、まず自分を知ることです。やりたい仕事、これまで頑張ってきたこと、長所短所など、自己分析をしっかりすることが大切です。私も初めは、自分のことが分かっているつもりでも、相手に上手く伝えることができませんでした。しかし、自己分析をしっかりしたことで、面接ではどんな質問にも柔軟に対応できました。これから就職活動をする方は自分を知ることから、まだ時間があるという方は、学業や部活動、アルバイトなど、今を誰よりも頑張ることが大切だと思います。



視野を広く持つこと

ささき りんたろう
佐々木 凜太郎 | クリエイティブデザイン学科 4年

就職活動を進めていく上で、視野を広く持つことはとても大切です。私自身、最初は自分がどのような仕事をしたいと思っていたのかさえ全くわかりませんでした。そこで、合同企業説明会に何度も参加し、興味があるかどうかで判断せず様々な業種の企業のブースで話を聞いていました。そうして企業研究を進めていくうちに、自分に合った企業が見つかるはずでした。最初から視野を狭くしてしまうと、それだけ選択肢も知識も少なくなり、後で困るのは自分自身です。自分の将来を大きく左右する決断なので、じっくり悩むべきだと思います。

卒業生の声



内定への道

きたじま だいち
北島 大地
日本水工設計株式会社
平成29年度
都市マネジメント学科卒業

就職活動で大切なことは、興味のある仕事を見つけることだと私は考えます。

私は、土木工学を専攻していたこともあり、防災に携わり、計画・設計をする仕事に就きたいと思い、就職活動は防災に係わる仕事への想いを軸に活動を行い、水コンサルタント業界にたどり着きました。私の場合は、業界を絞り込み、同業他社を比較できたことで、第一志望である弊社への内定に繋がったと実感しております。

現在、私は、水道ビジョンで掲げている安全でおいしい水の提供、災害に強い水道システムづくりを構築するため、様々な地域のお客様のご要望に応えられるよう日々の業務に励んでおります。



「就活を楽しめ」 その言葉に後押し されてポジティブに 挑めた

ふるうち あやか
古内 彩香
住友不動産販売株式会社
平成30年度
安全安心生活デザイン学科卒業

私は友人からの勧めでキャリアアドバイザーにお世話になり、就職活動を恋愛だと思えという言葉で就職活動の見方が変わり楽しむことができました。入りたい会社を彼氏だと思い、最終面接は「彼の父親だと思って自分をアピールしてみたら？」と言われ前向きに楽しめました。入社して2ヶ月が経ち、この会社が自分に合っているのか未だに分かりませんが、就職活動を一生懸命行ったからこそ後悔はありません。入社してから後悔しないよう、楽しみながら頑張ってください。

進化する!! 東北工業大学

よりよい未来を創り出す若者たちを育てるため、東北工業大学は2020年4月より、3学部8学科体制となります。わが国、特に東北地方の産業界で指導的役割を担う高度の技術者を育てるとともに、地域創造のため歩み続けます。

建築学部 建築学科

新設

北関東・東北・北海道初となる「建築学部」を新設

日本において建築学は、「工学部」に属することが一般的です。しかし、建築学の学びは工学からデザイン、歴史までも包含する総合的なものであり、「工学部」の枠にとどまらない広がりや深みを持ちます。そこで、工学部、ライフデザイン学部をつなぐ「横断的で学際的な学びを実現する場」として建築学部を新設しました。半世紀以上にわたる教育・研究の歴史と実績を持つ本学建築学科を発展させ、文系・理系の枠にとらわれない、さらに魅力的な建築教育を実践します。



工学部 環境応用化学科

新設

充実した設備とカリキュラムで環境保全につながる化学を学ぶ

化学産業は、新エネルギーなどを作り出す一方で、環境保全分野への関心が高まっている社会のニーズへの対応が必要です。そのため、資源循環を考える環境エネルギー学科の理念をもとに、環境保全を化学で解明する知識と技術を学ぶ環境を整えます。あらゆる生物において持続可能な環境を築いていくために、害となり得るものは何か、害を生み出さないためにはどんな対応をしておくべきか。安全・安心な未来へつなげるために、リスクをいち早く摘み取る研究を「工学」と「化学」の両面から行います。



ライフデザイン学部 産業デザイン学科

名称変更

(現 クリエイティブデザイン学科)

社会変化の本質を見つめ世の中が求める価値を創る

今日のデザインに求められるものは、「美しさ」だけではなく、社会における「価値創造」そのものまで拡大しています。技術革新が進み、モノとサービスが融合する次なる産業革命が始まり、目まぐるしいスピードで変化する社会。この時代において、モノやサービスに新しい価値を入れ込む役割として、デザインが必要とされています。企業との産学連携など「実践」の学びを通して、デザインが本来持つ、変化の本質を見抜く目と、豊かな発想力で、未来の成長産業の創出と発展に貢献する人を育成します。



ライフデザイン学部 生活デザイン学科

名称変更

(現 安全安心生活デザイン学科)

豊かな生活につながるモノ・コト両面のデザインを学ぶ

地域の生活空間(住居系)、コミュニティ(社会系)、共助・ケア(福祉系)の3つの分野を重視し、「住まいのかたち」と「くらしのしくみ」、それをとりまく地域社会について総合的に学ぶことを表現するため、学科名称を変更しました。社会・地域に寄り添い関わり合う本学だからこそ、地域と実際に関わりながら、地域の人々の生活(福祉・住まい・くらし)をデザインすることを実践的に学びます。そして、知恵と技術を身につけた、優れた技術者・デザイナー・コーディネーターの育成を目指します。



先生のホンネ ㊦

教室では語られない学生へ向けた先生のホンネを聞きました。

大学の設備を使って、
遊んで楽しんでみよう。



まるやま つぎと
丸山 次人

電気電子工学科 教授

学生の皆さん、夢を持っていますか？遊んでいますか？大学の特徴は、4年間の集大成としての「卒業研修」があることです。AI（人工知能）時代の今日、人間の本质は知性を持っていることです。自ら研究目標を設定して、真理の解明に向け探究していく能力を持っていることです。この能力を学修するのが卒業研修です。大学には、高性能なパソコンやマイコン、高機能な測定器や製造装置があります。皆さん、まずはそれらを使って遊んで楽しんでみましょう。遊ぶことによって、新しいことを発見し真理の解明に近づくことでしょ。そして、知性を身につけることができます。

それでも慣れるように
がんばりましょう



やまだ まさき
山田 真幸

都市マネジメント学科 准教授

ホンネ慣れません。慣れてる様に見えるのなら、そのようにしているからです。新しい事をするのは大変です。いつかは来ると思っていた生活が激変する瞬間、それが五年前で、工大に来てから五回の季節が過ぎてはいるのですが、慣れません。「着任した頃は毎日準備で寝不足で、エナジードリンクで気合入れて教壇に立っていました。大変な事でもいつかは慣れます。」といった原稿を書くのがこの場にはふさわしいかもしれませんが…でも新しい事をするのは楽しいですよ、成功しても失敗しても昨日はやったことの無い事をしたのですから。

試して間違ふこと



ながさき ともひろ
長崎 智宏

クリエイティブデザイン学科 准教授

デザインが対象とする領域が広がってきています。同時に、解決しなければならない課題も難しくなってきました。私自身もデザインをするときに、何が課題なのか、正解は何なのか、分からない時があります。そんな時にどうするか？答えのひとつが「試して間違ふ」ことだと思います。課題に対して、直感でも良いので何かひとつ試してみます。試してみて間違ったら、それをヒントをまた試して失敗して、を繰り返すと、少しずつ問題を理解していくことができます。すぐに結果を求めがちな昨今ですが、「試して間違ふこと」をぜひ試してみてください。



バイオリン演奏ロボット
(右端:10,000行のプログラムを作成した上村 琢哉さん)



目の不自由な方を誘導するガイドロボット



休暇にして花巻に行った事もありました



いつかは楽になるはず



実習課題をダンボールで試しに作ってみた



どうやれば植物の水やりタイミングを知ることができるのか？

台湾・玄奘大学の国際交流イベント「日本文化週」に参加しました



イベントポスターと本学との交流会ポスター

台湾・新竹市にある協定校の玄奘大学で、4月22日～26日の日程にて開催された国際交流イベント「日本文化週」に、引率教員の佐藤 飛鳥 准教授とともにクリエイティブデザイン学科2年山尾 まどかさんと、同じくクリエイティブデザイン学科2年山浦 萌さんが参加しました。玄奘大学日本語学科の学生たちが各々のテーマで日本文化について発表し、その講評を佐藤先生と本学学生たちが行いました。山尾さんと山浦さんは、自分たちで制作した自己紹介と大学紹介の発表を行いました。

また、イベント開催中に、近くの女子高校からの訪問依頼があり、学生たちによる大学紹介、佐藤先生による体験授業などを行いました。そのほか、玄奘大学の学生たちとの台北市内観光などもあり、多く台湾の学生との交流を深め、台湾での異文化体験は学生達にとって旅行では味わえない得難い時間となったようです。



発表をした日本語学科の学生達と



玄奘大学は仏教系の私立大学でこの日はお祭りがありました



曙光女子高校に訪問し歓迎をうけました



高校生たちの体験授業を手伝いました



有名な小籠包を堪能しました



台湾の学生たちと一緒に台北観光に

パリ・ヴァル・ドゥ・セーヌ国立高等建築学校との交流「3.11に関する国際ワークショップ」

4月18日に、本学協定校のパリ・ヴァル・ドゥ・セーヌ国立高等建築学校（フランス）より引率教員のポリス教授と大学院生13名が本学を訪れました。東日本大震災で大きな被害を免れることができた本学の制震・免震システムを現場で見たいという願いから、本学建築学科を中心とした本学の施設見学と地震災害と制振をテーマとする国際ワークショップを2014年から毎年開催しています。

ワークショップでは、日本語と英語での発表が行われ、本学からは福屋 粧子 准教授、新井 信幸 准教授、東北大学から五十子 幸樹 教授、源栄 正人 教授が発表し、東日本大震災の建物被害や復興計画事例、建築耐震工学とさまざまなテーマのもと、活発な議論が交わされました。

また、懇親会もあり、教員や学生の垣根なく教育環境の違いやそれぞれの国への興味・関心に基づいた質問や会話を通して互いの理解と友情を深めました。



日仏国際ワークショップポスター



薛教授による本学の地震観測モニタリングシステムの説明



建築学科の設計室を見学



フランスの学生たちも興味津々



ワークショップには本学学生たちも参加しました



本学の免震・制振装置を見学



建築学科は国際交流が盛んな学科です



フランスでも日本食がポピュラーとのこと

中国・広州大学と大学間国際交流協定(継続)に調印しました

4月16日に、中国広州市にある広州大学から、郭 興蓮 副学長ほか4名が本学に訪問しました。広州大学とは2008年に協定締結しており、今回新たな国際交流協定に調印し、関係を一層強固なものにするため協議を行いました。調印後には訪問団は大学構内の各施設を視察しました。今回の訪問では、両大学による具体的な交流について意見交換を行い、さらなる交流の推進を図っていくことで合意しました。



郭副学長からあいさつがありました



今後の学生交流について協議しました



郭副学長と今野弘学長が両学の交流促進に固い握手を交わしました



出席頂いた先生方と一緒に記念撮影

地域連携センター・研究支援センターだより

■地域志向科目の開講

本学では、大学COC事業の一環として、新入生を対象に学科の垣根を超えた地域志向科目を必修科目として設置しております。今年度も工学部では「地域とテクノロジー」、「地域防災減災論」、ライフデザイン学部では「コミュニティネットワーク論」の3科目を開講しております。初回には、今野 弘 学長による本校教育が行われ、本学が地域の産業・文化の発展に貢献できる人材を育成していることについて講義がありました。2回目以降は外部実務者などによる講義が行われ、学生にとって地域や企業への関心を高め、将来に向け貴重な情報を得る機会となっています。



本校教育を行っている今野 弘 学長



講義の様子

■復興大学「県民講座」今年もスタート

「この地で復興を考え・学ぼう」というテーマを掲げ、復興大学（事業代表校：東北工業大学）の県民講座が、今年もスタートしました。

6月22日（土）に、第1回目の講座を開講し、第1講・第2講は、元宮城県建築住宅センター顧問の三部 佳英 氏、第3講は、合同会社巻組代表の渡邊 享子 氏を講師にお迎えし、講義を行っていただきました。

公開講座は、11月16日までの土曜日午後、6科目34講座を一番町口ピー及び八木山キャンパスで開講しています。また、被災地の復興の現場を実際に見学することができる現場実習を、今年度は3回実施する予定です。1講座のみの参加も可能ですので、ご興味ある方は是非お申し込みください（講座申込は随時受け付けております）。



県民講座 講義中の様子

■東北工業大学 青森県円卓会議を開催しました

6月1日（土）、青森県国際ホテルにおいて「東北工業大学青森県円卓会議～持続可能な東北を目指して～」を開催しました。

前半は現在取り組んでいる研究事例の講演・話題提供として、環境エネルギー学科 丸尾 容子 教授から「呼吸で病気を早期発見する～自分で行う健康管理を目指して～」、建築学科 中村 琢巳 講師からは「歴史的町並みを未来へ伝える一城下町・弘前での地域協働」の講演がありました。

後半は、東北工業大学同窓会青森県支部から5名の方が登壇していただき、「青森から工大に期待したいこと」をテーマに、特に研究・調査活動に対する意見・提案をしていただきました。参加いただきました先生方からも活発な意見があり、充実した公開情報交換会になりました。



開会の挨拶をする渡邊 浩文 副学長



円卓会議「青森から東北工業大学に期待したいこと」

新任教職員紹介 (2019年4月1日付)

工学部

環境エネルギー学科 教授



さとう よしゆき
佐藤 善之

超臨界流体を用いた環境対応研究をとおして、広い視点を持った技術者の養成を目指します。

都市マネジメント学科 准教授



ほうじょう としまさ
北條 俊昌

生活排水や食品廃棄物の処理技術の開発を通して循環型社会の実現を目指しています。

都市マネジメント学科 助教



すがわら けいいち
菅原 景一

川の流れを学んで 川の文化を学んで 川の環境を学んで 川の流れるように歩んでみませんか。

ライフデザイン学部

クリエイティブデザイン学科 教授



おおや りゅういち
大矢 隆一

デザインでブランディングをリードできる未来のクリエイターを育てたいと思います。

大学事務職員

教務学生課 事務職員



ごとう あいこ
後藤 愛子

多様化する学生やニーズに応えられるよう勉強してまいります。

入試広報課 事務職員



おおひら ふつき
大平 楓月

情報の吸収・発信を常に心がけ、東北工業大学の魅力を学内外へ伝えていきます。

入試広報課 事務職員



まつざか こうすけ
松坂 航佑

工大の発展の為、入試広報課として大学の魅力を全力で発信していきたいと思っています。

ウェルネスセンター事務局

ウェルネスセンターカウンセラー



ふくろち ちえ
袋地 知恵

学生がより良い学生生活を送れるようにサポートしていきます。よろしくお願ひします。

技術支援センター

教育支援系技術職員



ありた こういち
有田 康一

実験を通して学生が自ら手を動かして協力し、考え、理解を深められるよう支援します。

教育支援系技術職員



さいとう けいじ
齋藤 圭司

魅力ある工大人として社会で活躍できるよう、実験や実習を通し学生を支援したいと思います。

教育支援系技術職員



にしお まさと
西尾 正人

高い専門知識・技術をよりスムーズに修得できるよう支援していきたいと考えています。

教育支援系技術職員



みやけ よしき
三宅 良宜

企業での経験を活かし、学生に分かりやすく知識や技術を教えていきたいと思っています。

◆東北工業大学応援ツアー（硬式野球編）

5月19日（日）に、仙台六大学野球春季リーグ戦（第6節）対東北大学戦の応援ツアーを実施しました。応援ツアーは昨年の春（硬式野球）と秋（サッカー）に続いて3回目の開催となります。

当日は、学生・教職員約100名が東北福祉大球場に集まり、応援団、チアリーダー部、吹奏楽部の応援に合わせ、スティックバレーンやメガホンを手に、選手達に熱い声援を送りました。応援の甲斐もあり、3対0で本学が勝利を収め、二年連続春季Aクラス入りを果たしました。

応援ツアーは今後も他競技にて企画いたしますので、学生たちが活躍する姿にどうぞご期待ください。



スタンドからの大きな声援



応援を背に会心の一撃

□2019年度 入学式挙行

2019年度入学式が、4月3日(水)に八木山キャンパス体育館において挙行されました。

学部生は932名、大学院生は博士(前期)課程17名の新入生と、そのご家族が出席しました。

式では、入学生代表として、電気電子工学科 こぼやし 小林 はるか 遥さんと建築学専攻 よしだ 吉田 ようすけ 鷹介さんが、それぞれ入学の辞を述べました。



■新入生の内訳

学部	人数
工学部	932名
電気電子工学科	145
情報通信工学科	146
建築学科	156
都市マネジメント学科	108
環境エネルギー学科	81
計	636

ライフデザイン学部	人数
クリエイティブデザイン学科	101
安全安心生活デザイン学科	101
経営コミュニケーション学科	94
計	296

大学院[博士(前期)課程]	人数
工学研究科	17名
電子工学専攻	2
通信工学専攻	2
建築学専攻	8
土木工学専攻	2
環境情報工学専攻	2
計	16

ライフデザイン学研究科	人数
デザイン工学専攻	1
計	1

□学友会代表者会議報告

2019年度学友会代表者会議が、4月26日(金)に開催され、学友会各団体の代表者が参加しました。会議では、平成30年度の決算報告ならびに監査報告が行われ、続いて2019年度予算(案)が審議され承認されました。

■2019年度学友会予算

収入の部(単位:円)		支出の部(単位:円)	
科目	金額	科目	金額
会費	23,591,000	クラブ等援助費	17,300,000
内 学部学生	23,300,000	学科学生会援助費	4,827,000
内 編入生・転学生	25,000	指導助成費	1,500,000
		大学祭援助費	1,000,000
大学院生	55,000	北科大交流諸費	2,500,000
教職員	211,000	事務費	200,000
前年度繰越金	12,748,478	旅費交通費	0
雑収入	0	印刷費	50,000
収入合計	36,339,478	雑費	100,000
		予備費	8,862,478
		支出合計	36,339,478

□2019年度 東北地区大学体育大会

東北地区大学体育大会は、東北全県を会場に12種目の競技が行われ、48大学約6,500名の学生が参加します。本学からは7種目に選手が出場を予定しており、早い種目では5月に試合が始まっています。各クラブとも本番に向けて調整に余念がないところですが、日頃の練習の成果を十分に発揮できるよう頑張つてほしいと思います。

■主催:東北地区大学体育連盟

■主管大学:岩手大学

■参加者:東北地区大学体育連盟加盟48大学 約6,500名

競技種目	主管大学	開催日
陸上競技(男・女)	岩手大学	8月 3日(土)～ 8月 4日(日)
水泳(男)	弘前大学	6月 8日(土)～ 6月 9日(日)
準硬式野球(男)	福島大学	7月 5日(金)～ 7月 7日(日)
テニス(男)	東北大学	8月13日(火)～ 8月17日(土)
バスケットボール(男・女)		6月28日(金)～ 6月30日(日)
バレーボール(男・女)		11月 2日(土)～11月 4日(月)
サッカー(男)	岩手大学	6月 7日(金)～ 6月11日(火)
ラグビー(男)	弘前大学	6月22日(土)～ 6月23日(日)
バドミントン(男)	福島大学	6月30日(日)
剣道(男・女)	秋田大学	6月23日(日)
弓道(男)		5月24日(金)～ 5月26日(日)
弓道(女)		6月14日(金)～ 6月16日(日)
空手道(男・女)	東北大学	6月 9日(日)

□2019年度 父母懇談会開催

本学後援会主催による父母懇談会が6月1日(土)の青森・山形会場を皮切りに、8会場で開催されました。仙台会場を除く6県では、後援会県支部総会も開催されております。

懇談会当日は各会場に大学側から教職員が赴き、本学の近況報告が行われた後、学業成績や学生生活の状況などを中心に、保護者との個人面談を行いました。

また八木山・長町両キャンパスで行われた6月8日(土)の懇談会では、今野 こんの ひろし 弘 学長、小林 こぼやし まさき 正樹 工学部長、菊地 きくち りょうく 良寛 ライフデザイン学部長が、挨拶ならびに大学の近況を報告し、その後、保護者との個人面談が行なわれました。

個人面談の待ち時間には、各学科の担当教員から施設の案内や学生の作品紹介があり、会場全体では500名を超える学生の保護者の方にご出席をいただきました。

■2019年度 後援会父母懇談会日程

開催日	開催地	会場
6月 1日(土)	青森	青森観光物産館 アスパム
	山形	山形テルサ
6月 2日(日)	秋田	秋田県JAビル
	新潟	万代シルバーホテル
6月 8日(土)	仙台	東北工業大学八木山キャンパス
		東北工業大学長町キャンパス
6月15日(土)	岩手	盛岡地域交流センター(マリオス)
	福島	福島テルサ

◆東北工業大学 presents ラジオオープンキャンパス

本年度4月より「工大ラジオ@一番町ロビー」に代わり、「東北工業大学presentsラジオオープンキャンパス」の放送を開始しました。TBCラジオ（東北放送）の電波に乗せて毎週日曜日に放送をしています。本学の教員や学生、卒業生などが、ゲストとして本学の知恵・技・情報などの魅力を発信しています。

ぜひお聴きください。

- 放送日時：毎週日曜日 6:30～6:45 放送
- パーソナリティ：吉田 旺弘 東北工業大学 名誉教授
菅原 ゆうこ フリーアナウンサー
- radiko (リンク：<http://radiko.jp>)
放送後1週間以内であれば視聴が可能です。



第7、8回放送に出演：情報通信工学科 中川 朋子 教授

◆宮城県警察大学生サイバーボランティア委嘱式

本学 情報通信工学科の学生が参加する宮城県警察大学生サイバーボランティアの委嘱式ならびに研修会が、5月16日（木）、宮城県警察本部で行われました。

本活動は、サイバー空間における県民生活の安全と平穏の確保に資することが目的であり、委嘱（活動）期間は1年間となります。

本学ではこの活動に2014年度から協力しており、今年も情報通信工学科 角田 裕 研究室の学生を中心に学部4年生10名、3年生2名、2年生2名の計14名が、宮城県警察大学生サイバーボランティアとして違法・有害情報の通報や広報啓発活動などを行います。



サイバーセキュリティ統括官からの委嘱状交付



活動内容に関する研修会

◆サイバーセキュリティカレッジの開催

まつだ まさひろ
松田 勝敬 情報通信工学科 准教授

今年度も、情報通信工学科の1年生の専門科目「情報リテラシー」の授業の一環として、7月1日（月）にサイバーセキュリティカレッジが開催されました。サイバーセキュリティカレッジは、サイバー犯罪と情報セキュリティに関する理解と意識の向上を目的とした講習会です。

宮城県警察本部サイバー犯罪対策課より2名の講師をお招きし、サイバー犯罪の具体例や技術的解説、SNSの利用に伴う危険性や、対策などについてわかりやすく解説していただきました。

情報通信分野の専門家として学生たちの気持ちも引き締まったと思います。



サイバー犯罪の解説を聴く学生たち

◆第1回オープンキャンパス「希望の旅へ」を開催

八木山・長町キャンパスにおいて、第1回オープンキャンパス「希望の旅へ」を6月22日（土）に開催しました。梅雨空にもかかわらず、県内外から昨年度を上回る827名の高校生や保護者にご来場いただきました。

来年度より新設する「工学部 環境応用化学科」「建築学部 建築学科」の説明会を初め、入試相談、学科企画、女子カフェなどを開催しました。学科紹介ブースでは、在学生及び教職員が来場者に学科概要や研究、魅力などについて熱心に説明していました。

また、吹奏楽部やチアリーダー部がパフォーマンスを行い、会場を盛り上げました。



◆第2回オープンキャンパス「輝きの旅へ」を開催

前回に引き続き、八木山・長町の両キャンパスで7月20日（土）・21（日）の2日間にわたり、第2回オープンキャンパス「輝きの旅へ」を開催しました。前回の「工学部 環境応用化学科」「建築学部 建築学科」の説明会や入試相談、学科企画、女子カフェなどの企画に加え、20日（土）には8学科によるミニ講義を、21日（日）には小論文・面接対策講座を開講しました。高校生たちは、真剣にメモを取り進路決定の参考にしている様子でした。2日間合わせて1,517名の高校生や保護者にご来場いただき、大盛況でした。



◆藤崎百貨店の200周年記念キャラクター制作を篠原研究室の学生が担当しました

文政2年（1819年）創業の仙台市を代表する百貨店・藤崎の200周年を記念するキャラクターを、クリエイティブデザイン学科 篠原良太 研究室の学生がデザインしました。

このキャラクターデザインプロジェクトは、2018年の夏よりスタートし、半年間をかけて先方との意見交換や店舗での投票、複数回のプレゼンテーションを経て、最終的に大橋 来未さんおおはし くるみのデザイン案「ふじドル」に決定しました。

2019年2月より公開されており、藤崎百貨店のウェブサイトやLINEスタンプ、オリジナルグッズ等で活躍しています。



200周年キャラクターを用いたオリジナルグッズ



マスコットキャラクターデザイン表彰式における記念撮影

都市マネジメント学科 とまり なおゆき 泊 尚志 准教授 **がご紹介**

都市マネジメント学科

こん よんちよる 権 永哲 准教授



冷静と情熱のりょうほう

権 永哲 准教授は、土木工学のうち構造物の安定に欠かすことのできない地盤分野、特に軟弱地盤を専門とされています。一方、軟弱なのは専門分野の地盤のみであり、ご本人の内外にみられるしなやかな力強さが権 准教授の魅力です。授業では冷静に理路整然と進行しつつも、わかりやすかつ粘り強く指導する力量と心意気、そして優しさに学生から定評があります。そうした丁寧な指導はときに熱を帯び、実験指導時の声が2つも上の階まで聞こえてくる場合があります(1つ上の階まで聞こえてきてももはや驚きません)。このように、権 准教授の力強さは、冷静と情熱の「りょうほう」を併せ持っています。

権 准教授は韓国のご出身で、留学により2005年に東北大学で博士(工学)を取得されました。その後韓国での大学勤務を経て2017年4月に本学に着任されました。このような経緯から仙台および東北地方をよくご存知であり、東北各地でご家族と余暇を楽しまれているようです。



information

夏休み中の図書館利用について

附属図書館の8月から9月の開館スケジュールは下記のとおりです。

附属図書館	開館時間	休館日
八木山本館	8月7日(水)~9月17日(火)	土、日、祝日
長町分館	9時~17時	

※都合により、記載日以外に休館となる場合があります。最新の開館予定は、図書館HPに掲載の図書館開館カレンダーをご覧ください。直接お問い合わせください。
※学外利用者の方も、上記時間帯でのご利用となります。

開館スケジュール・貸出等については、下記へお問い合わせください。

■八木山本館/TEL:022-305-3179

■長町分館/TEL:022-304-5508

どうぞお気軽にご利用ください。

topics

八木山地域でのハーブをツールとしたまちづくり活動

安全安心生活デザイン学科

いとう みゆき 伊藤 美由紀 准教授



地域住民や城南高校生らと挿し木作業

2018年4月より、本学科の地域安全安心センターは八木山地域の団体と連携し、ハーブを活用した多世代、地域内外との交流の場づくりをしています。

昨年、仙台城南高等学校の体育館南側の道沿いに植えたラベンダーを6月29日に、収穫と挿し木作業、草刈作業を地域住民や城南高校生、学生など50名で行いました。7月13日には、八木山キャンパス10号館1階tohtech FORUMで、講師に上泉 ミエ氏(アロマ/ハーブの専門店「アロマリズム」オーナー)をお招きし、挿し木の植え替え作業とハーブの活用法を学ぶ講習会を行い、参加者45名はハーブティーを楽しみながら活用法を学びました。

これからの主な行事予定 (2019年度)

- 9月**
- 2日(月) 前期成績発表
 - 追再試験時間割発表
 - 3日(火)・4日(水) 前期補習
 - 5日(木)・6日(金)・9日(月)・10日(火) 前期追再試験
 - 13日(金) 夏季休業終了
 - 17日(火) 後期オリエンテーション
 - 18日(水) 後期授業開始

- 10月**
- 11日(金) 大学祭準備 スポーツ大会
 - 12日(土)・13日(日) 大学祭
 - 19日(土) 創立記念日

- 11月**
- 1日(金) AOVA入試
 - 27日(水) 指定校推薦入試
 - 30日(土) 後期補講日

- 12月**
- 7日(土) 後期補講日
 - 12日(木) 専門高校・総合学科入試
 - 公募制推薦入試
 - 23日(月) 冬季休業開始(~1/3まで)

column

ふくろち ちえ 袋地 知恵 ウェルネスセンター カウンセラー

「心の世界」



学生と面接をしていると、何かしらの疑問や困りごとに対して1つの答えや正解を求めようような場面に遭遇することがよくあります。そんな時に私は、次のようなことを話します。「普段生活している世界では1+1=2のように1つの問題に対して1つの答えしかない場合が多いですが、心に関わる世界では、1+1が必ずしも2ではなく、3になることや時には0になることもあります。」これは、人によって答えが異なるという意味合いも含んでいますし、1つの問題に対して複数の答えがあるという意味合いも含んでいます。さらには、簡単に解決できることではないという側面もあるかもしれません。私が何よりも伝えたいことは、1つの正解にこだわらないでほしいということ、いろいろな考え方があっていいということです。最終的に決めるのは学生であり、カウンセラーである私は、学生が自分なりの答えを見つけることをサポートするのが役割だと思っています。普段の学習の中で答えは1つしかないと思込んでいる学生にとって、この話は「目からウロコ」のようですが、時にはそんな柔軟性を持って自分の心と向き合ってみるのも大切なことかもしれません。

本誌に関するご意見・ご感想をお待ちしております。

〒982-8577
宮城県仙台市太白区八木山香澄町35番1号
東北工業大学 入試広報課
TEL: 022-305-3144
FAX: 022-228-1813
E-mail: kohositu@tohtech.ac.jp